

平成28年度 第1回 桜川市総合教育会議議事録

1. 日 時 平成28年6月21日（火）午前9時00分

2. 場 所 桜川市役所 大和庁舎 2階 第5会議室

3. 出席者

（構成員）大塚市長、松崎教育委員、秋山教育委員、古橋教育委員、海老澤教育委員、梅井教育長

（事務局）横田市長公室長、宮山教育部長、佐藤次長兼学校教育課長、河合企画課長、学校教育課荒井総務グループ長、企画課萩原統計・国体グループ長、坪井企画グループ長（記録者）

（関係者）〔企画課〕大場主幹

4. 内 容

○司会

ただいまから第1回桜川市総合教育会議を開催いたします。初めに、大塚市長から挨拶をお願いします。

○市長

本日は大変お忙しい中、お集まりいただきまして誠にありがとうございます。教育委員の皆様には、日頃より本市の教育行政にご尽力いただいておりますこと感謝申し上げます。

さて昨年度は、桜川市教育大綱が策定され、現在その大綱に基づき教育行政が進められているところです。

本日は、今年度最初の総合教育会議ですので、桜川市立小中学校適正配置基本計画や桜川市総合戦略といった平成28年度の桜川市の主要計画、（仮称）桃山小中一貫教育校の名称募集に関する事、そして第74回国民体育大会への桜川市としての対応について、報告・説明させていただきます。

どうかそれらの内容についてご理解を頂くとともに、それぞれの取り組みにつきまして、引き続きご協力をくださいますようお願いいたします。

簡単ではありますが、挨拶とさせていただきます。

○司会

次に、協議事項に入りたいと思います。設置要綱第4条の規定に基づいて、

市長が議長となります。以後の会議の進行を大塚市長にお願いしたいと思いません。

○市長

それでは、要綱により議長を務めさせていただきますので、ご協力をよろしくお願いします。まず、協議事項の1点目、桜川市主要計画について説明をお願いします。

○学校教育課長

平成28年度桜川市主要計画（「桜川市立小中学校適正配置基本計画」「桜川市総合戦略」「第2次桜川市総合計画」策定及び「桜川市教育大綱」の変更に関わるスケジュールについて説明）

○市長

ただいま、説明がございました。これらについてご意見をお願いします。

○海老澤教育委員

桜川市まち・ひと・しごと創生総合戦略についてですが、たくさん教育委員会に関わるということで、小中学校の事業を入れていただいたんですが、ちょっとこれだと子供達忙しすぎると思うんですね。正直これだと今の授業体系の中に入れ込もうとすると全部は無理だと思います。

段階的に分けるとか、学校を選ぶなど授業でカリキュラムに入れないと実現できない内容のものが多と思うんですね。

農業の後継者育成や山桜の関係などの事業の中に、小中学校と入っているのはすばらしい事なんですが、現在でも小中学生なんかは部活動、各学校の先生方も忙しい中で、いろんな案件を抱えていると思いますので、総合戦略というものを出すにあたっては、小中学校という文言も入っていないと難しい点もあるのかとも思いますけど、この先この計画に沿って動いた時に、具体的に小中学校にどのように関わってもらうのか、全体で関わってもらうのか、岩瀬地区のある学校だけが関わってもらうのかなど教育委員会と詰めていかないと多分、中途半端になってしまうのかなと思います。

理由としましては、この計画が出る前に、桜川市になってからですが、サクラノサクプロジェクトが岩瀬小学校で毎年授業を行っていたはずですが、当初はまるっきり学校教育課の方からはじかれていまして、そんな時間ないからというのが一、二年続いたそうです。その後、毎年出張授業のプロジェクトができるようになったと聞きました。

そういったことも含めて、子供達忙しいので、きちんとその辺を精査して、2016年から2019年とありますので、縦と横の線を整理してやらないと中途半端になってしまうのかなと思いました。

あと、観光がいくつか教育の分野に関わってくるのかも知れませんが、もし、観光ということでまちを盛り上げるということなら、同じように小中学生を関わらせるということであれば、真壁地区の中学校では、実際ひなまつりボランティア案内ということで、参加していただいているようです。

同じように山桜であれば、その時期にサクラボランティアというものを募集してやっているはずですので、そちらの方も学校の1つの授業として、取り組んでいただけるようなものにしていかないと、なかなか根付くのは難しいのではないかと思います。

いずれにせよ、将来的には現在の子供達が桜川市に残ってもらって、仕事をしながら生活していける。その結果、次世代に繋いでいってもらうのが最終的な目標だと思いますので、具体的なことを進める段階になった時には、小中学校のカリキュラムを組む時期というのは、3月に1年分のもので決まっていますから、今年で来年というのは難しいでしょうから、今年の再来年のことを見越して進めないとなかなか難しいのではないかと思います。

○学校教育課長

ありがとうございます。ただいま海老澤委員さんからいただいたご指摘ですが、今後、このまち・ひと・しごと総合戦略を進めるにあたっては、各事業ごとに担当部署、担当者を含めて具体的にどういうことをしていくかということ協議していく場がございます。

その中で、今ご指摘を受けたようなところを課題として提案させていただきまして、子供達に無理のない、また、子供達にとっても身のある取組となるように対応していきたいと思います。この総合戦略ですが、必ずしも期間中ずっとというわけではなく、常に評価をしながら問題点を見つけて、それを改善していくという繰り返しになりますので、そういった中で、きちんとしたものを詰めていきたいと考えておりますので、よろしく願いいたします。

○市長

その他、ご意見ございますか。

○古橋教育委員

まず、小中学校の適正配置基本計画のスケジュールについて、7月6日に桃山中学校保護者懇談会というのがありますが、いろいろ段階を踏んで計画を進

めるというのは大変いいことだと思うんですが、ここで内容的に何を説明するかということなんですが、ここに統合準備作業の進捗報告とありますが、これは、小中一貫校の進捗状況の説明ですよ。

○学校教育課長

はい、これは具体的に進めております仮称の桃山小中一貫校の進捗について、報告するというので保護者の方から依頼がございました。

○古橋教育委員

そうですね。保護者の方から依頼があったから開くということなんですが、私は、将来的に小中一貫校に入るのは、今の小学生ですよ。結局、中学生ではないわけですよ。

だとすると、「このように考えていますよ」という進捗状況は、むしろ小学校の中高学年の保護者に説明した方が、自分の子供を将来あの学校に入れる時、こんな構想で学校が出来上がっていくのかなど、夢をもって参加してもらうのがいいのではないかと思います。先ほどの説明を聞きました。

もう1つ総合戦略室のプランが色々ありました。桜川市を盛り上げようということで、盛りだくさんに入っているなど思いながら聞いたんですが、今課長さんから補足があり、今後詰めていくということですが、総括責任者の基、具体化するためPDCA方式で今後、進めるといことですが、5年間というのはすぐ経ってしまいますので、その作業というものをしっかりやっていただくようお願いいたします。

ここには、意図して盛り込まなかったのかもしれませんが、物事を進めるには3つの条件があると思うんですが、人・物・金というね。そのお金の部分、つまり予算の部分が全然見えてこないんです。その点はどうなっているのかなと。

お金がない中、具体的な裏付けというのはどうなっているのか。具体的な計画というのをぜひ着々と進めて、その時に、教育関係ですから小中学校の職員ですね。子供達の育成を担う職員、代表の意見などもその時に盛り込みながら、先ほどの絵に描いた餅にならないようにというふうなお話もありましたけれども意見を取り込みながら進めていただくと、具体化も一層増すのではないかと思います。

○学校教育課長

貴重なご意見ありがとうございます。今指摘いただいた内容、十分意識して今後の計画の策定、計画の推進にあたっていきたいと思っております。

なお、ご懸念がございました総合戦略の個別事業を進めるにあたっての予算的な話でございますが、本来は、主管であります総合戦略室が参りまして説明するところでございますが、私どもが聞いている話といたしましては、こういった事業につきましては、そもそも国の認定を受けた計画でございますが、国の方では、内容の成熟度や実現度を勘案して、交付金をそれぞれの自治体に交付すると、それを使って事業を進めるという話になっておりますので、それぞれの事業の中で、予算の裏付けとしてこの事業を進めていきたいと考えています。

○古橋教育委員

お金はいつごろどの位きて、いくら位なのですか。おおよそ5年間で進めるのに雲をつかむような話では仕事が進まないと思います。

○学校教育課長

事業費の何割という話ではないようです。定額でくるということですが、これについては、主管課で関連課から事業費等を吸い上げて年次計画にして、どれだけ事業費が掛かるかといこというものを出して、それを基に国と調整していくことになっておりますので、今ここで、具体的に金額は申し上げられませんが。

○市長

この間、地方創生加速化交付金で8千万付きました。その内容で進めなさいということで、茨城県内でこのような額は2、3箇所だと思います。

内容がある程度評価されているのかなと思います。上限一杯ですね。1億6千万位要求したんですが、半分ということですね。

○古橋教育委員

それを6年間ですか。

○市長

いえ、それは金額が決まっているわけではなく、各市にそれで進めなさいということです。茨城県では8千万は3市ぐらいですね。今回は、公共交通と日本一の自転車道をつくりましょうということで、4種類ぐらいですか予算は付きました。今後もこれらを進めるにあたっていろいろなかたちで予算は付いてくるのではないかと思います。

○古橋教育委員

ほとんど事業を進めるお金というのは、国のお金でということ、市の持ち出しはないんですか。

○市長

もちろん市の持ち出しはあります。具体的に進めていって補助金をもらうということですね。10月から公共交通関係で筑波山口から真壁庁舎まで1日片道16便を予定でバスの実証運転を半年実施します。これは、国の方からお金がきて半分は市で出しますということです。

○古橋教育委員

すごいですね。今市長さんから8千万について、どの事業かというお話がありました。まだ予算付けがされていない事業もいっぱいあるわけですね。そういう点も心配ですよ。

○市長

担当課で順次今進めている状況です。

○古橋教育委員

計画を立てて申請しているということですか。

○市長

市の予算も今年の12月には色々出てくるのではないかと思います。

○秋山教育委員

総合戦略について、説明をいただいたんですが1ページにある桜川の再生について、私も教育委員と区長という立場で話をしてしまうんですが、山桜も5年前から少しずつ人が来るようになって、今後どうしようかという動きはあります。お金がなくてやっているのが現状です。

教育委員としてのお話しですが、ジオパークというものがありますけど、この事務局がつくば市にあるようなんですが、この間担当者の方とお会いした際、色々お話しをしたんですが、地元の再発見ということで、地元の小中学校への意識付けなどの事業もやっていますので、海老澤委員から現在の学校が過密だということがありましたが、地元に残ってもらうとか、地元を理解してもらうためには何かしなければいけないということ、岩瀬東中では、地元の観光資源の写真や資料等が展示できるスペースを作っていただきました。

学年ごとに地域を知ろうということで、現在準備を進めているところです。南飯田小でも遠足の際、歴史的なものの説明ですとか、そういうものについては、地元の分かる人がやっている状況です。そのような点も小中学校の生徒達にできるだけ教育の場を与えてほしいなという気がいたします。

ハード面に関するお金については、また別の機会にさせていただきますが、先ほど言いましたとおり教育に対する体験などできるだけ多く計画していただければいいのかなと思います。各世代での地域でそのような方たちが連携をとっていかない限りは事業も難しいのではないかと思います。

○松崎教育委員

まず、総合戦略の19ページ「海外人材交流事業」で海外との姉妹都市連携とありますが、その対象候補地というのはいくつか考えられているのかという点とスカイプを活用した英会話交流事業に係る費用ですね。それと、1回の通話料はどれくらいかかるのか。そのような見積りはどうしているのか。

3点目は、スカイプを利用した授業というのは県内でどれくらい実施しているのか。それと、過日、議会の常任委員会で先進地視察をして来たということなので、もし、県内で実施している市町村があるとすれば、それも含めて過日、県外で見てきたスカイプ担当の専任の学校では、加配措置などがされているのか、また、導入する場合には、一斉に導入するのか、それとも年次計画で導入するのか質問いたします。

これをやるにあたっては、カリキュラムが非常に重要になってきますので、小中学校含めて、今後カリキュラムをどう作っていくのか、その検討委員会等は教育委員会で市と連携してやっていかないとまずいのかなと思います。これは意見です。

○学校教育課長

この事業に対するカリキュラム作成に関するご意見ありがとうございます。十分意識して進めたいと思います。

まず、この事業の具体的な取組み方ですが、今後様々な調整を取りながら進めていくところがございます。現在想定している中の姉妹校のお話しですが、こちらにつきましては、過日の6月の定例議会の方でも出ましたが、今年ブルガリアへ市長を初め議員の有志さんが訪問して、そういったことについても検討していくということでございます。その展開次第でブルガリアの一都市が、そういったところで姉妹都市になるということは想定されます。

また、スカイプを利用した海外との交流につきましては、当然通話をするわけですので、いわゆる時差、相手の地域が今どういう状況かというのが大事に

なってくると思いますので、時差の少ないところ、お互い学校の教育時間の中で、やり取りができるような、そういった時間が設定できる国、地域を選んで展開ができればと考えております。

それから整備にあたっての具体的な費用等ですが、こちらについては現段階では、具体的な資料等の収集は行っておりません。

それから、県内におきます取組状況ですが、つくば市の方で何校かこのスカイプを利用した交流をしているというような話を聞いております。

また、過日議員さんの研修で行かれた内容につきましては、宮山教育部長が同行されておりますので、部長の方からお話しをさせていただきます。

○宮山教育部長

はい、5月の下旬 大阪府箕面市へ行って来ました。

施設一体型小中一貫校でスカイプを活用した、国際交流を実施しているところでございます。大阪のベットタウンで人口がどんどん増えており、小中一貫校で、当初100名位しかない児童生徒数が、現在600名になり数年後には1,000名を超えるんじゃないかというような所でございます。

施設一体型小中一貫校で実施しているのが2校ございます。スカイプを活用した国際交流を実施しております。

教育カリキュラムの中に、国際交流の時間を設けるのではなく、学校の通路、ホール等に画面を置いて、常時ニュージーランドのハット市という所と結んで、子供達が自分の空き時間、休み時間等に相手といつでも交流できるような、国際交流の窓を設けているというような状況でございます。

当然、国際交流をやる上では、事前の相手との打合せが必要になってきます。箕面市におきましては、各小中学校に一人ずつALTを配置しているようです。当市は残念ながら16校で7名しかおらず、各学校に順番でご指導をいただいている状況です。

やはりスカイプをやる上では、相手国との事前の打ち合わせが必要になってきますのでそれらが重要になるのかなと思います。

ハード面については、カメラ等若干の設備を設置しなければならない点や人的な配置、それからALT、加配の教員等も必要になるのかなと思います。

特徴的には、子供達が、いつでも自分の空いている時間に英語等で、国際交流ができるそういった窓を設けたということではないかと思えます。

○梅井教育長

私も4月に部長とは別の箕面市の非常に新しい山の斜面を開発して造られた小中一貫校に行って来ました。そこはモノレールを通しまして、どんどん住宅

が発展して、何もない所での小中一貫校ですが、現在1,000人弱で、あと5、6年後には2,500人になるかというような所です。

スカイプについては、3時間位ハット市と時差がありますが、学校では、職員室があってL字型のコーナーの所に大画面とデスク、キーボードがり、6年生の12、3人の子達がちょうど集まって来てくれました。そこで色々やってくれたんですが、普段は本当に自由にやっている状況のようですね。

A L Tは、今部長からもありましたけれども箕面市として、全校に配置しているということで、これは特別スカイプ対応というよりもA L Tを配置するよというそのような市の意図だと思います。

そこは、97ヶ国の外国の方住んでいます。大阪大学の外国語学部のキャンパスがあるということで、そこが大きいとは思いますが。

通信回線は、一般の回線ですので、ランニングコストは抑えているようですが、「不具合が生じます」という説明を聞いて行ったら、正にその不具合の最中でした。10分位経って、うまく動き出しましたが。

また、最初テレビ等設置するコストも安く抑えていますよということでした。私も拝見して、全校で取り組むというよりもある程度英語の勉強もして、やってみないとなかなか難しんではないかと、そうするとある程度簡単な英語でやっていますので、最初は英語の学習をして、徐々に広げていくという方法もあるのかなと思いました。

○市長

先ほど課長の方からブルガリアの話があったんですが、これは旧岩瀬町時代に繋がりがあって、昨年合併10周年で大使が来ていただきまして、今年の春に大使にちょっと呼ばれまして、進めたらどうかという話をいただきました。

いろいろ事業等が重なっているので来年あたりまで、もう少し先というお話をしたんですが、良いことは早く進めようという話になりまして、そこまで言われると考えまして、今回の運びとなったわけです。

今回、予算付けいたしまして、職員以外は自腹ということですが、文化交流も大事なのかなと思っております。ブルガリアと一応、姉妹都市までには至らないと思いますが、とりあえず友好都市というような形で、詰めていければと考えているところでございます。

スカイプの話ですが、これにつきましては、フィリピンを検討しております。時差が1時間しかないことや発音もいいということです。

また、フィリピンのA L Tに関しても多いという話も聞いております。

フィリピンの日本語学校で、これから看護師とか介護士で、日本に来るまたは、日本語の勉強をしている方など、これからの検討になるのかなと思うんで

すが、向こうの高校生だと英語が基本で話をしていますので、日本語の勉強をしたいとなった場合、相手は小学校ぐらいから始まるのがいいのかなと、この辺りご検討をいただきたいと思います。

姉妹都市に関しては、とりあえずスカイプから入ってもいいのかなということで、そこは考えなくても学校の方は、大丈夫です。スカイプは繋げそうです。

予算的には年間60万位、月5万位は考えなければいけないのかなという方向でした。スカイプに関しては、英語圏で教えるのも上手だということで、フィリピンがいいのではと思っています。

この間の国際交流ブルガリアについては、なぜ英語圏でもないのにそんな所と交流するのかとの話もあったので、議会の最後に、英語圏で検討したいと、文教委員長の報告でもスカイプ非常にいいんじゃないかという話もありましたので、予算的にも検討していきたいなと思っています。

後は、教育委員さんのご意見をいただき、学校の受入が問題なければ、ぜひ来年度ぐらいには詰められるのではないかと思います。

○松崎教育委員

先ほどの説明ですと予算的には市内一斉というのも可能みたいですが、ただALTがね。ある程度モデル校を作るなどして、今後の検討課題になるかと思っています。

○市長

小学校なら多分一番大きな小学校からというような順番になると思います。

○松崎教育委員

20ページの音楽のまちづくり事業ですが、市民吹奏楽団とか、少年少女合唱団そういったものが、この総合戦略には全然生かされていないですね。

先ほどブルガリアの話もありましたが、ブルガリアは非常に合唱が盛んです。もし、ブルガリアとその様な文化交流を図るとなると、市に少年少女合唱団があつて共にやるというのは非常に勉強にもなります。カラオケは、ほとんど老人対象ですよ。若者じゃないと活性化しないでしょう。

市内の子供達だけでなく、市外の高校に通っている生徒も含め、若者の健全育成化にも役割を果たすのではないかと思います。

○海老澤教育委員

古河で今バンド活動をしています、古河の方では月に1回は道の駅や市の公園でライブを毎回やるんです。中高生もいれば社会人のグループサウンズ、

吹奏楽のマーチングバンドもいます。

以前、その屋外ステージの下が土なので困ると古河市長さんに言ったらすぐにコンクリートで地面を直してくれました。

こういったことが通ってこそ音楽のまちづくりだと思うんですよ。また、この音楽のまちづくり事業の総括が福祉部長というのは、ちょっと違うのではないかなと思います。

○学校教育課長

今、貴重なご意見をいただきまして、決してこの取組は、カラオケ大会等に特化するものではなく、子供達が楽しく明るく取り組めるような事業の展開を見据えて検討していきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

○秋山教育委員

先ほど市長さんの方からブルガリアの話がありましたが、亀岡に浅賀さんという彫刻家がいるんです。この方は、密接に交流を深めているというお話を聞きましたが、こういった方との関わりはどうかお聞きします。

○市長

その浅賀さんの繋がりで始まったということで聞いています。

○秋山教育委員

分かりました。

○古橋教育委員

総合戦略の2ページの基本目標3で移住定住を促すという項目の中で、「若者が住みたいまちをつくる」「子育てしやすいまちをつくる」「住民が主役のまちをつくる」ということですが、上2つのこの目標を実現する具体的な戦略というんでしょうか計画というか、ややこの総合戦略の中では、私が見た感じでは弱いかなと思います。

24ページのこの高齢化率や年少人口推計なんですが、愕然としながら自分の住む地域などを見ているんですが、こういうことを勘案した時に、若者が将来住みたいと思える場所で、子育てをする若い家族も桜川に住みたいとなるような構想を具体化した施策というのが、やや弱いかなと思いました。

総合教育会議のメンバーとして、将来の桜川構想のプランとなる資料をいただきましたが、この資料というのは、この施策を市民の想起させるようなものが散りばめられていますから、我々だけではなく一般市民の方にも啓発された

り、市では様々な会議を開催すると思うんですが、市民の会合とかの場にこれらを提供しているんでしょうか。

もし、提供しているのであれば蛇足なんですが、仮に限定しているとすれば会議に提供することで啓発や刺激を受ける市民がいるのではないのでしょうか。この意見、要望2点について伺います。

○学校教育課長

今、古橋委員さんからのご指摘につきましては、事務を担当しております総合戦略室の方に、伝えておきたいと思います。あと、資料の市民向けの提供ですが、紙ベースでの提供は記憶がないのですが、ホームページの方でこの内容は見られるようになっております。市民の方でそのような環境が整っていれば見ることは十分可能となっております。

紙ベースでの資料配布につきましても、総合戦略室に申し伝えたいと思いますので、よろしく願いいたします。

○松崎教育委員

感想なんですが、基本施策3つありますよね。この基本目標と重点プロジェクトの整合性があるのかなど。見えてこないなど。例えば「持続可能な仕事をつくる」「若者が住みたいまちをつくる」ということに関し、どこに記載されているのかちょっと疑問を感じました。

○市長

「子育てしやすいまちをつくる」この辺に関しましても、ぜひ教育大綱にお願いしたいです。私としては、尖ったものを作っていただきたいと思っております。

どこが桜川市の特徴なのか。どのような教育をしていくのか。

このようなことがこれから、じゃ桜川市で子育てしてみるか。ということにも繋がってきますので、教育委員の皆様には、いろいろ難しいところではございますが、古橋委員からもありましたが、人口減少の現在、同じ事をやってもなかなか生き残れない時代に来ていると思いますので、尖った事も必要なのではと考えております。

○松崎教育委員

それらはぜひ教育大綱の中に位置付けてほしいと、そういうことです。

○市長

はい、よろしくお願いいたします。それでは次の報告事項に移ります。
(仮称) 桃山小中一貫校の名称募集について説明願います。

○学校教育課長
(「仮称桃山小中一貫校の名称募集」について説明)

○市長
何かご意見ございますか。ご意見が無いようですので、次の「第74回国民体育大会」への対応について、説明願います。

○企画課大場主幹
(「第74回国民体育大会」への対応について説明)

○司会
今の説明について、ご意見ございますか。

ご意見がないようですので、以上をもちまして第1回総合教育会議を閉会とします。慎重なご協議ありがとうございました。